

令和3年度 第1回 河北町総合教育会議 会議録

1 出欠席者氏名

河北町長 森谷 俊雄、河北町教育長 板坂 憲助

河北町教育委員 児玉 康子、木嶋 真一、槇 ふみえ、和田 茂樹

欠席者（0名）

2 事務局職員の職氏名

学校教育課長 鈴木 淳子、生涯学習課長 秋場 弘昭

教育主幹(兼)指導主事 石山 勝巳、指導主事 秋葉 千絵

課長補佐(兼)管理係長 大泉 雅志

3 日 程

令和3年12月16日（木）午後3時05分 開会 河北町役場3階委員会室

1 開会

2 町長あいさつ

3 協議

(1) 第2次 河北町教育振興計画について

(2) 小学校あり方検討委員会について

4 その他

5 閉会

1 開会

大泉課長補佐

それでは、皆さんお揃いですので、只今より、令和3年度 第1回河北町総合教育会議を開催いたしたいと思います。はじめに町長のほうから挨拶のほうをお願いしたいと思います。

2 町長あいさつ

森谷町長

お忙しい中、お集まり頂きまして、ありがとうございます。

9月議会で小学校のあり方について2人の議員から質問がありました。今後については、小学校のあり方検討委員会を立ち上げる予定です。十分に検討しながら進めていきたいと思います。本日はよろしく願いいたします。

大泉課長補佐

それでは、協議に入らせていただきたいと思います。座長につきましては、町長のほうからお願いしたいと思います。

3 協議

森谷町長

それでは、第2次 河北町教育振興計画についてお願いします。

石山教育主幹

振興計画の改訂版ですが、5年経過しましたので作成したところです。作成にあたっての委員会を開きたいということで、最後のページに記載してあるメンバーで、委員会を開いてご意見を頂戴し修正をかけていきたいと思います。No.1～3の委員が、今年度の事務事業評価の委員になっております。学識経験者であり、学校教育・社会教育に詳しい方々になります。先ほど教育委員会会議の中で4名の教育委員の皆様からご承認いただいたのですが、この委員になっていただいて、加えて現職の校長で小学校代表・中学校代表で委員の構成をしたいと考えております。今日はこの中身について詳しく説明はしませんが、赤い文字で書いてあるところが、修正点・追加しているところになります。1月の末に教育委員会会議を予定しているところがあるのですが、その日の時間帯を工夫して、この会議を開いて進めていきたいと思います。

森谷町長

それでは、皆さんから確認したいこととか、意見などがあれば、お願いしたい

と思います。

児玉委員

7 ページから始まる「旧計画の成果と課題」については、第1次計画のものをそのまま残したということですが、それから5年経っていますので、例えば5年間分の評価なり或いは課題となっているものを記載してはどうかと思いました。

森谷町長

私のほうから5点ほどお願いしたいと思います。

1点目が児童生徒の減少が加速化しているなかで、どういう課題が出てきて、今後どういった対応が必要かを盛り込む必要があると思います。その中の一つとして、子供たちは減っているのですが、当面、学童クラブの利用者は増えております。

2点目については、SDGsになります。持続可能な社会形成に向けてということで、検討していただければと思います。

特に脱炭素環境教育であります。待ったなしで踏み込んだ議論をしないと子供たちの世代にこの地球を残すことができない状況にあります。その中で、大人の責任もありますが、子供たちにも教育する必要があると思います。

3点目ですが、多様性の尊重であります。この点についても検討していただければと思います。

それから4点目ですが、貧困問題になります。今所得を増やすことと分配をしっかりとするというので、新しい内閣で進めておりますが、ヤングケアラーやこども食堂に象徴されるように十分な食事をできてないお子さんがいらっやいます。子供たちを取り巻く環境が、5年前と比べて、大きく変わっていますので、町としてもこの問題に対して取り組んでいきたいと思っています。

最後に、食育になります。地元の食材の使用率を高めるアクションとして、果物を学校で贈呈したり、或いは給食の食材として使ったりして、子供たちへ食に対する教育を進めていきたいと考えております。

板坂教育長

最近の議会・校長会・教育長会などでも、今町長からあったようなことが話題になっていますので、これからの教育に配慮していかなければならないと思います。

児玉委員

柱として強く打ち出したほうがいいと思うのは、プログラミングとグローバル化になります。今対応しなければいけないのは、世界に通用するような学びの中で子供を育てていかなければと思います。

森谷町長

それでは、小学校あり方検討委員会についてお願いします。

鈴木課長

小学校あり方検討委員会の概要について、説明させていただきたいと思います。

本町の小学校のあり方にかかわる課題として、児童数の減少と各学区による不均等があげられます。減少率については、2011年度の生徒数と比較しますと20.4%の減となっております。2027年度については、今年度と比較して21.9%の減となります。

複式学級の出現の可能性ですが、令和6年度に北谷地小学校、令和8年度に西里小学校、令和9年度に溝延小学校の可能性があります。

各校の人数の格差ですが、法令上、学校規模の標準学級数は、小中学校ともに12学級以上18学級以下と規定されています。ただし、地域の実態その他の特別の事情がある時はその限りでないとされています。学校規模の適正化にあたっては、法令上標準が定められている学級数に加え、1学級当たりの児童生徒数や学校全体の児童生徒数、それらの将来推計などの観点も併せて総合的な検討を行うことが求められているところです。

今年度の学級数と児童数ですが、西里小学校が6学級・83名、溝延小学校が6学級・70名、谷地中部小学校が15学級・382名、谷地南部小学校が6学級・171名、谷

地西部小学校が4学級(複式2)・35名、北谷地小学校が6学級・76名となります。

先ほど申し上げた、12学級以上18学級以下に該当するのは、谷地中部小学校のみとなっているところです。

それから、課題の二つ目としまして、学校施設の老朽化になります。いちばん古いのが西里小学校になりまして、昭和60年の建築で築36年になります。続いて、谷地西部小学校が築34年、溝延小学校が築29年、北谷地小学校が築26年、谷地南部小学校が築24年、谷地中部小学校が築20年となっております。どの学校も建築年数の経過により、改修が見込まれるところです。施設のあり方についても併せて検討していかなければと思っているところです。

現在考えている検討委員会委員のメンバーになりますが、学識経験者、地域住民代表、河北町校長会、各学校の保護者代表、町内学童クラブ代表、各こども園・幼稚園保護者代表、その他教育委員会が適当であると認める者としております。

今後の予定としましては、来年度に「河北町の小学校のあり方検討委員会」を立ち上げまして、これからの子どもたちにとって、望ましい教育環境がどうあるべきかを考えていくこととなります。

板坂教育長

来年度、前半には検討委員会を立ち上げたいと思います。

保護者の人選については、最低でも2年以上できる方と考えております。

森谷町長

皆さんのほうで、なにかございませんか。

児玉委員

検討委員会の設置要綱の中で、「適正規模や適正配置」とあるが、適正配置とは、場所を示しているのですか。

板坂憲助

適正配置とは、通学距離が5～6キロメートルが適正といわれています。

森谷町長

ほかになにかございませんか。

ないようでしたら、協議案件については以上になります。

4 その他

5 閉会

大泉課長補佐

これをもちまして、令和３年度 第１回河北町総合教育会議を閉会いたします。

～午後４時２９分